

R 3 年度 高松市立新番丁小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

確かな学力と規範意識を身につけ、郷土高松を誇りに思い、
未来に向かってたくましく生きる子どもの育成

【本校の課題】

- ・新体力テストでは、多くの学年でほとんどの種目の値が県・全国平均を下回っている。
- ・特に、50m走・20mシャトルラン・ジャベリックボール投げの値が、
県・全国平均と比べてかなり低い。
- ・運動経験が少なく、投げ方や走り方が理解できていない児童が多い。

【現状】

休み時間には、固定遊具や一輪車、ボール遊び、鬼ごっこなどで、運動場いっぱい広がって元気よく外遊びをする子どもの姿が見られる。その反面、教室等の室内で過ごす子どもも多い。また、習い事や地域のスポーツ少年団等に参加している児童とそうでない児童の間に、運動習慣や運動能力にかなりの二極化傾向がみられる。ただ、平成27年度から導入した、スポーツタイムに関して、今年度の児童対象意識調査では、「大好き→63%、好き→14%」と好結果が示されている。運動意欲が高い子どもは多いと言える。

【取組み】

クラスマッチの実施

体育関連行事や教科体育での運動種目によって、2・3学期に各学年でクラスマッチ（運動会、ボール運動、なわとび）を実施する。その際、各学年の実態に応じて、具体的なめあてを設定し、振り返りを大切にするようにする。



S1活動

5・6年生の希望者による運動部活動を、年間を通して計画的に進める。水泳・陸上運動を中心にしながら、体力づくりに励む。個人の目標設定を明確にし、体力や技能の伸びを実感できるように工夫する。



運動委員会が計画する運動イベント

昼休みに体づくり運動を中心としたアスレチック系イベントを開催する。安全に配慮し、全身を使うエリアを数箇所設ける。さらに、クリアできた児童に賞状を配布し、意欲化を図る。



【目標】

- 学校独自のアンケートに「1日の平均運動時間」を問う項目を設定し、実態を把握する。年度末には当初の結果数値を上回るようにする。
- 運動委員会を中心に昼休みの運動イベントを企画し、運動の楽しさを味わいながら、体力づくりに進んで取り組む児童の育成を目指す。